

# 新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議 (第 2 回)

## 議 事 次 第

日時：平成 27 年 8 月 10 日(月)17:30~18:30

場所：官 邸 4 階 大 会 議 室

### 1 開 会

### 2 議 事

- ・ 舛添東京都知事との意見交換
- ・ アスリートとの意見交換

### 3 閉 会

#### 《配布資料》

資料 1 「国民・アスリート等の声」の聴取について

資料 2 東京都提出資料

資料 3 北澤豪氏提出資料

新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議

(第2回)

出席者

【東京都】

舛添東京都知事

【アスリート（50音順）】

朝原宣治氏（陸上競技）

北澤豪氏（サッカー）

清宮克幸氏（ラグビー）

根木慎志氏（車いすバスケットボール）

ヨーコ ゼッターランド氏（バレーボール）

## 「国民・アスリート等の声」の聴取について

新国立競技場の整備計画の見直しに当たっては、「国民・アスリート等の声」を多様な手法により聴取する。

### 1 アスリート等をはじめ有識者からの意見聴取

- (1) 閣僚会議におけるヒアリング（第2回閣僚会議で実施：8月10日）  
閣僚会議においてアスリート・東京都から意見を聴く。
- (2) 遠藤大臣によるアスリート等からのヒアリング（すでに進行中）  
遠藤大臣が、アスリートをはじめ様々な分野の有識者から意見を聴く。
- (3) 遠藤大臣による新国立競技場への民間活力導入に関するヒアリング（8月中下旬に実施）

### 2 インターネットによる意識調査

インターネット（「Yahoo!ニュース 意識調査」）を活用し、あるべき新国立競技場の姿について、複数選択肢の中から回答を求める

### 3 首相官邸ホームページでの「ご意見募集」

首相官邸 HP において、新国立競技場に関するご意見・ご要望を募集している。

### 4 その他

各種団体等からの要請・提言についても、遠藤大臣が直接聴くなどにより整理する。

## これまでの意見交換について

7月28日～8月7日に、計15回（スポーツ団体4回、アスリート6回、ジャーナリスト2回、デザイナー1回、建築家1回）の意見交換を実施。

### （スポーツ団体）

- ・ 7月28日 （公財）日本サッカー協会
- ・ 7月29日 （公財）日本陸上競技連盟
- ・ 7月31日 （公財）日本オリンピック委員会
- ・ 7月31日 （公財）日本障がい者スポーツ協会

### （アスリート・有識者）

- ・ 7月30日 佐藤真海氏（パラリンピアン、陸上）
- ・ 7月31日 為末大氏（オリンピック、陸上）
- ・ 8月3日 山口香氏（オリンピック、柔道）
- ・ 8月3日 奥山清行（ケン・オクヤマ）氏（工業デザイナー）
- ・ 8月4日 平尾誠二氏（ラグビー）
- ・ 8月4日 室伏広治氏（オリンピック、陸上）
- ・ 8月4日 橋本五郎氏（ジャーナリスト）
- ・ 8月5日 河合純一氏（パラリンピアン、水泳）
- ・ 8月6日 高橋尚子氏（オリンピック、陸上）
- ・ 8月6日 槇文彦氏、大野秀敏氏（建築家）
- ・ 8月7日 角谷浩一氏（ジャーナリスト）

【総論について】

- 一番大事なことは、2020年の東京大会に確実に間に合うように完成させること。プレ大会を行って入念に確認する期間も必要。
- アスリート・ファーストの理念の下、参加選手にとって最高の競技環境を確保できるようお願いしたい。
- オリンピック・パラリンピックは歴史的な意味があり、そのメイン会場は後々までシンボルとなる。後世に残るという視点も重要。
- 新国立競技場の建設は、日本の建築技術を世界にアピールする絶好の機会でもある。
- コストを抑えながら、一方でレガシーとなる建造物を建設するという相反する目標の調整は難しいが、知恵を出しながら計画を策定してほしい。
- 様々な立場からの意見・要望にすべて対応することは困難。何かを捨てなければならない。相当の覚悟を持って総合的に判断してほしい。

【施設のスペック等について】

- 新国立競技場は8万人を収容するスタジアムとし、可動式スタンド、すべての観客席を覆う開閉式屋根を設置してほしい。
- サブトラックは陸上競技大会開催の条件であり、必ず整備してほしい。また、大会後は一般市民が気軽に利用できるよう開放してほしい。
- 障害や年齢に関係なく競技場に行きやすいよう、アクセシビリティの確保に配慮してほしい。
- 選手や観客の動線への配慮も重要。選手・観客の移動時だけでなく、緊急避難時にスムーズに動きやすいことも考慮する必要がある。
- 競技場の周辺への配慮も必要。駅から競技場にスムーズに移動できるような周辺環境の整備にも配慮してほしい。

# インターネット意識調査の中間集計（1）

（8月10日（月）午前6時現在）

## 実施中 新国立競技場、コスト抑制のために何をすべき？

政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の主会場となる新国立競技場について、できる限りコストを抑制し、本年秋口までに現実的な計画を策定するとしています。

あなたは、新国立競技場のコスト抑制のために、一番すべきことは何だと思いますか。（設問提供：内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室）

- 新国立競技場、魅力あるスタジアムにするためには何が必要？（内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室 / Yahoo!ニュース 意識調査）

ツイート

315

シェア

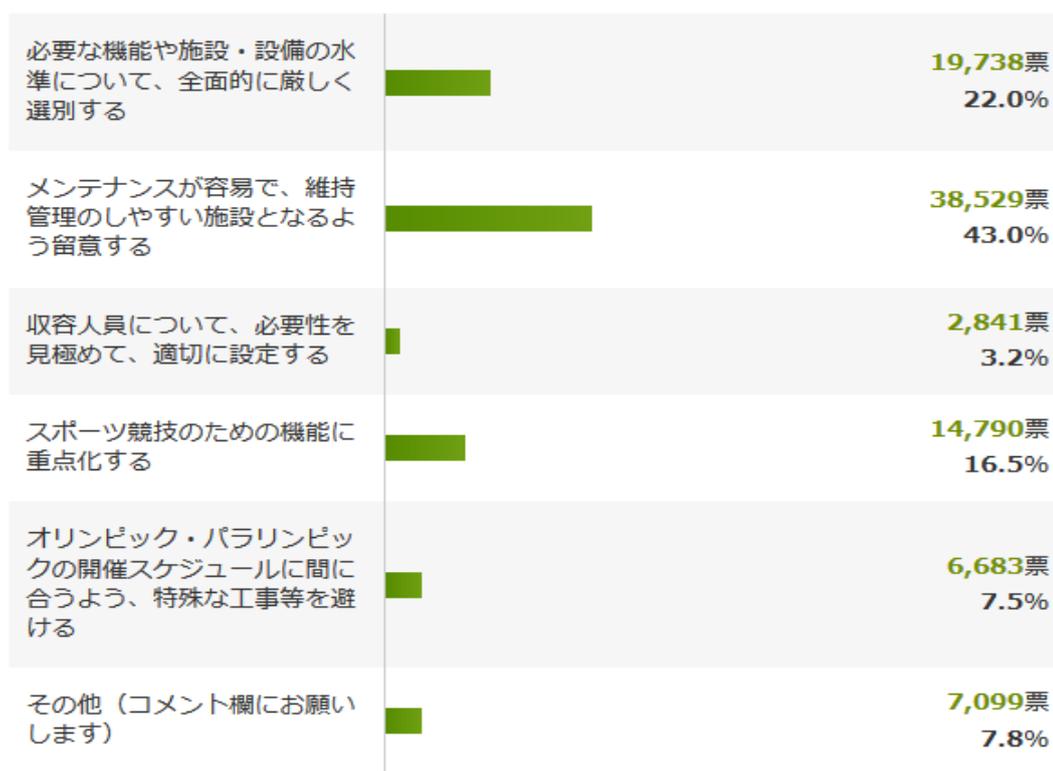
145

BI 2

コメントを見る（740件）

合計：89,680票

実施期間：2015年8月4日～2015年8月17日



### ○コメント（主なもの）

- ・ 国民及び都民の負担が無いように、維持運営方法も考えるべき。
- ・ 現存のスタジアムを利用してほしいです。
- ・ なかなか無い記念の事業なので、オリンピックの成功のため、少額でも募金をしたいと感じました。

〔出典：Yahoo!ニュース 意識調査〕

# インターネット意識調査の中間集計（2）

（8月10日（月）午前6時現在）

## 実施中 新国立競技場、魅力あるスタジアムにするためには何が必要？

政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の主会場となる新国立競技場について、できる限りコストを抑制し、本年秋口までに現実的な計画を策定するとしています。

あなたは、新国立競技場を魅力あるスタジアムにするために、何が一番必要だと考えますか。（設問提供：内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室）

- 新国立競技場、コスト抑制のために何をすべき？（内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室 / Yahoo!ニュース 意識調査）

ツイート 376

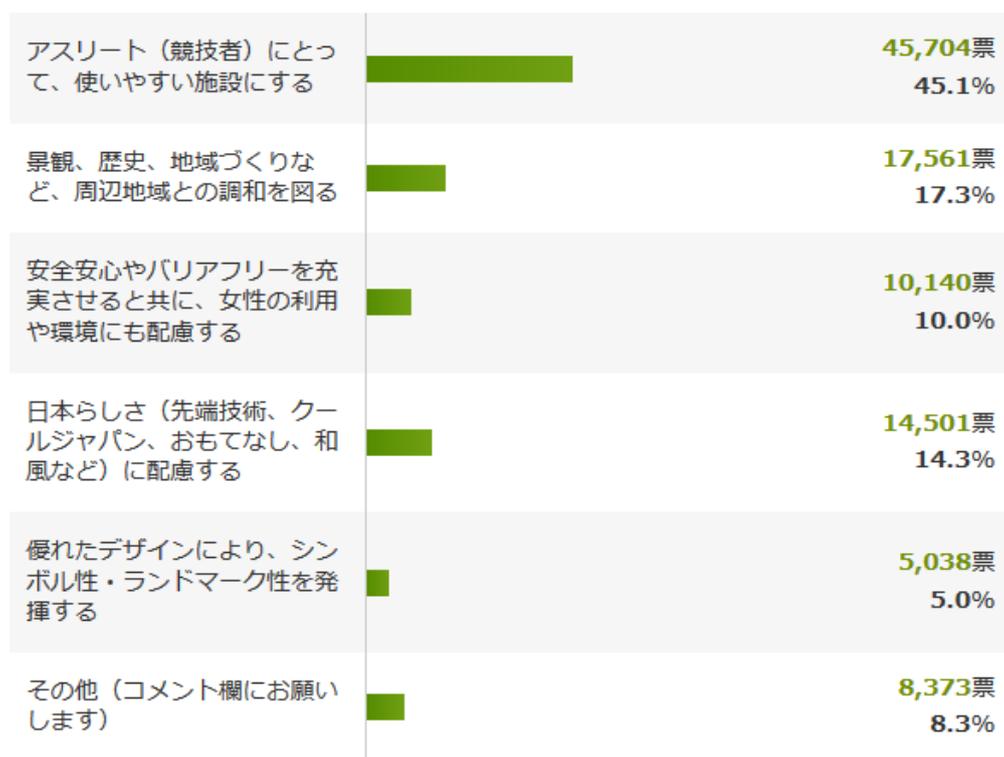
シェア 337

BI 4

コメントを見る (882件)

合計：101,317票

実施期間：2015年8月4日～2015年8月17日



### ○コメント（主なもの）

- ・建設費と維持費を低額にして、次世代への負担減を図るべき。
- ・純粋に、圧倒的世界一クラスのものを見てみたい。
- ・こんなの、全ての項目をクリアする施設を希望するに決まっているでしょう。

〔出典：Yahoo!ニュース 意識調査〕

# 「国民の声」（官邸 HP）の状況

## ○ 主なご意見（趣旨）

### 1 新国立競技場に必要な機能について

- ・ 日本の技術、文化、伝統など、日本を表現できるものにすべき。
- ・ 安く高品質で、アイデアを込めた実用性の高い施設にすべき。
- ・ アスリートの意見を聞き、彼らが望む形や機能を重視すべき。
- ・ 新しい神宮の森の創出を基本コンセプトに掲げるべき。
- ・ 太陽光発電や雨水利用等、環境に配慮した日本の技術を発揮すべき。

### 2 コストの抑制について

- ・ 建設費を抑制し、ゼロベースから適正価格の競技場を再考すべき。
- ・ 膨大な維持費、修繕費がかかるのでは、将来に負債を残す。
- ・ 事業者は最新技術のアピールができるので、その代わりに資金の協力を求める。

### 3 今後の進め方について

- ・ 情報の「見える化」を進め、国民の理解を得るべき。
- ・ 施工も含めたコンペとする方法が、一番適している。
- ・ 五輪後の維持費は、部分的にでも民営化しないとコストがかさむ。

※7月17日(金)14時～8月6日(木)14時に到着したご意見（1302通）より

平成 27 年 8 月 10 日  
東 京 都

## 新国立競技場の整備計画再検討について

### 1 はじめに

### 2 新国立競技場の整備について

#### ① アスリートや観客の視点に立つ

- ・ アスリートファースト
- ・ アクセシビリティの確保

#### ② 大会開催とレガシーを踏まえる

- ・ オリンピック・パラリンピック基準への適合
- ・ 20年後、30年後も都民、国民に愛される競技場

#### ③ 2020年1月までの完成を目指す

#### ④ 神宮外苑地区のまちづくりとの調和を図る

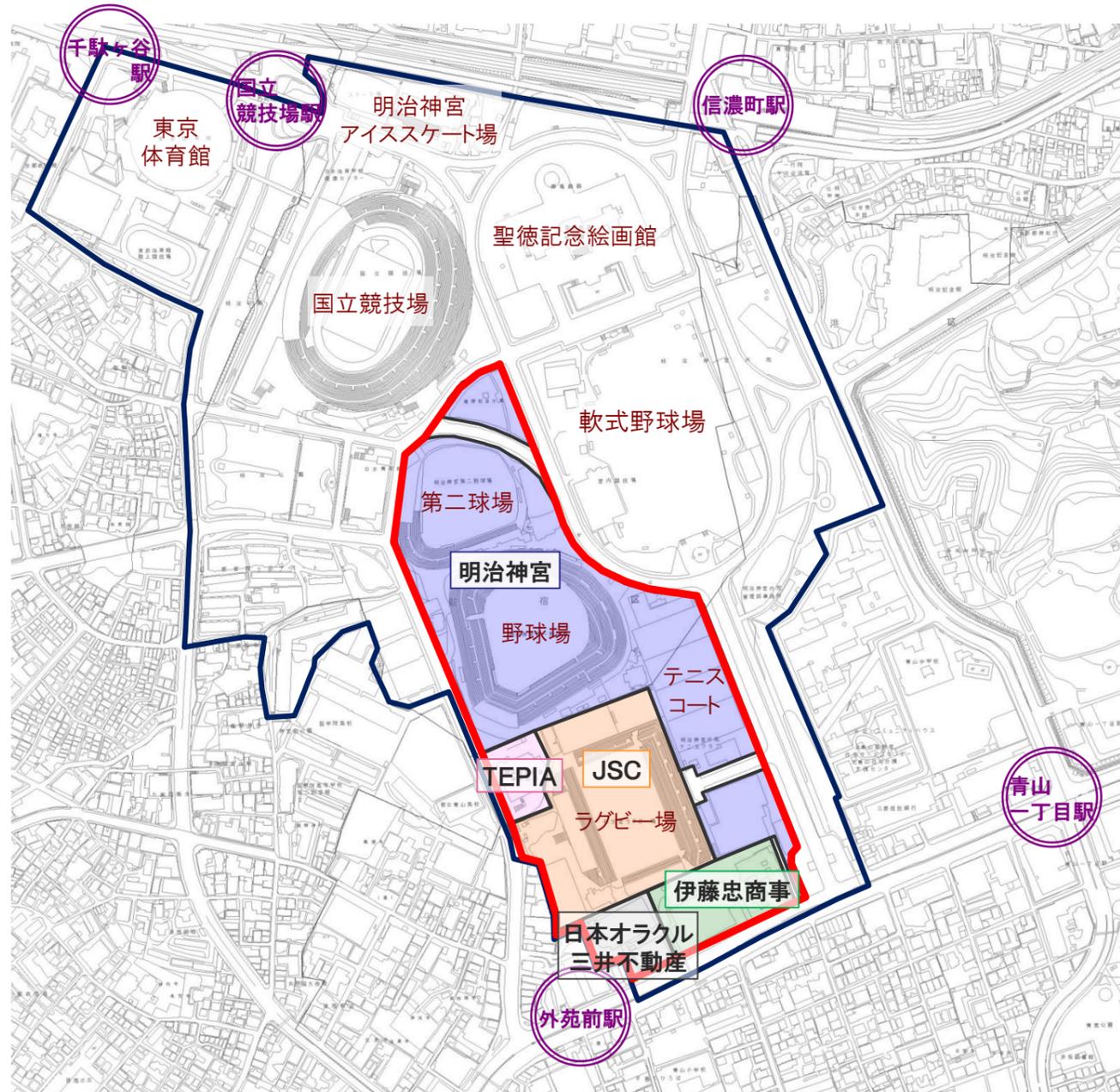
- ・ 新国立競技場を中核とするスポーツの一大拠点づくり
- ・ 歴史と風格ある周辺環境との調和
- ・ 地域の防災性向上

### 3 今後の進め方について

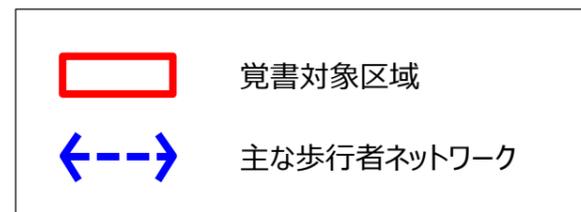
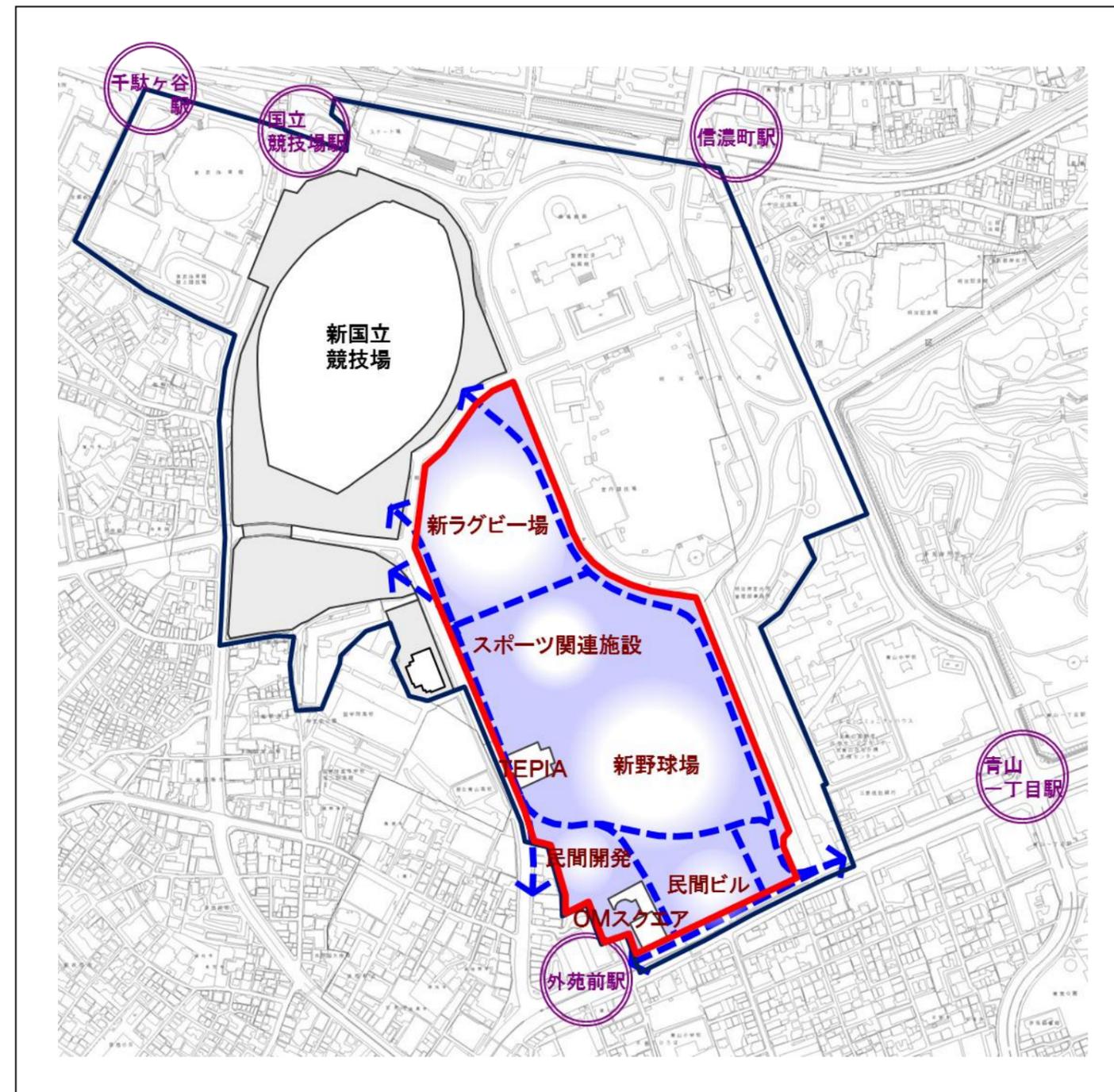
○ 的確な工程管理

○ 情報の公開

《 現在の土地利用 》

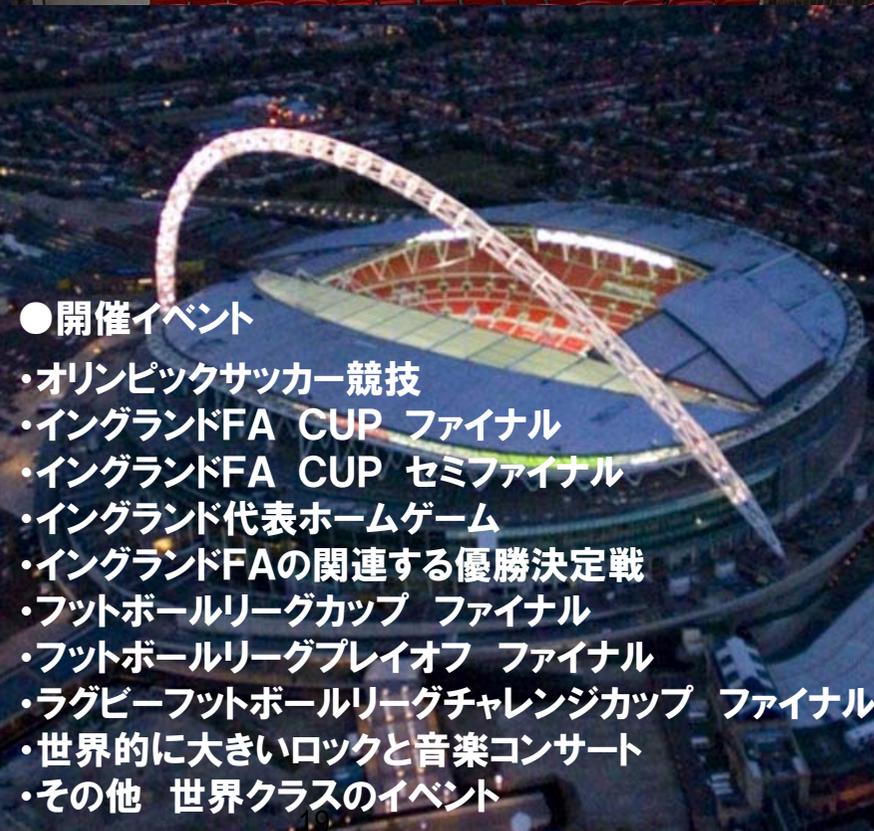
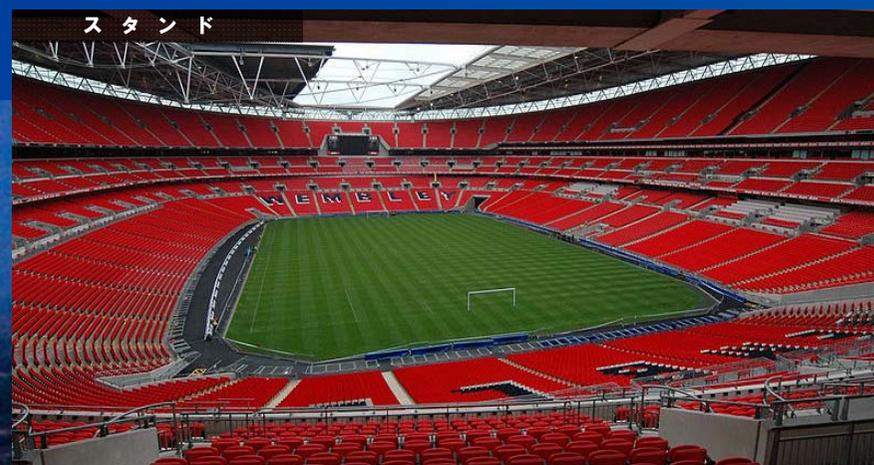


《 都が想定する再編整備イメージ 》



# ウェンブリー・スタジアム（イングランド）

位置	イングランド・ロンドン
オープン	2007年5月19日
収容人数	90,000人
使用実績	イングランド代表 他
所有者	The FA
管理者	ウェンブリーナショナルスタジアム社 (The FA関連会社)
設計・建設者	フォスターアンドパートナーズ ポピュロウス(旧HOK SPORT)
総工費(当時) 1ユーロ=120円 1ポンド=150円 ※現在は約192.5円 1USドル=90円	約1135億円(7.57億ポンド) ※現在のレートでは約1457億円 ※解体(1億ポンド)、土地代(1.2億ポンド)、建設費(3.5億ポンド)、 交通インフラ再構築のための管理会社 への出資を含む
敷地面積 (関連施設、駐車場、 広場等を含む)	約103,000m <sup>2</sup> (外周1km)
建築物設置面積	約65,000m <sup>2</sup>
屋根の大きさ	約52,000m <sup>2</sup> (可動式) ※イベント時全面クローズ
スカイボックス数	160室
トイレ	34人に1個(2618個)
メディア関係者席	400席 38コメンタリーポジション
車椅子席	310席
大型映像装置	2基
照明	1,400ルクス 380個



## ●開催イベント

- ・オリンピックサッカー競技
- ・イングランドFA CUP ファイナル
- ・イングランドFA CUP セミファイナル
- ・イングランド代表ホームゲーム
- ・イングランドFAの関連する優勝決定戦
- ・フットボールリーグカップ ファイナル
- ・フットボールリーグプレイオフ ファイナル
- ・ラグビーフットボールリーグチャレンジカップ ファイナル
- ・世界的に大きいロックと音楽コンサート
- ・その他 世界クラスのイベント

